

自昭和十九年十月一日
至昭和十九年十月三十一日

陣中日誌

獨逸成第十五聯隊速射砲中隊

22006

手帳

十月一日
晴(日)
伊江島より
鹿児島へ帰ル

一〇八〇〇 隊長以下二名前日引續々作業ヲ續行ス

二三十日 旅團會報ニ依リ會食準備ノタメ左記ノ者ヲシテ

司令部江口主計中尉ノ許ニ差出シ同官ノ指示ヲ受ケレム

陸軍一等兵 鈴木崇治

三二〇 旅團會報ニ依リ訓示並ニ會食ニ出席ス

四同所 旅團長閣下ノ訓示受領ス

五同所 式藤少尉ヲシテ本部獨立中隊ノ荷物搭載係ト

シ服務セシム

六同所 歸還準備ノタメ同日軍曹以下十一名梱包準備

ヲナサレム

七同梱包輸送並ニ監視ノタメ吉川伍長以下七名伊江島

埠頭ニ差出シ式藤少尉ノ指揮ヲ受ケレム

八一九二 隊長以下三十五名伊江島埠頭乘船鹿児島埠頭下

船中隊本部一九二ニ返還ス 植不兵長以下七名

岡田軍曹以下十一名吉川伍長以下七名中隊長
指揮下ニ入ラシム

九一八三。武蔵佐藤面小隊分宿甲ノ者武蔵小隊長、指
揮ヲ以下各分宿地ニ飯還セシム

一〇四〇。謝花北里面地ニ於テ佐藤少尉指導ノ許一人又
三十八名使用シ作業ヲ續行セシム

十月二日 一 本日一般兵ノ休養休養及武器被服ノ手入ヲナサシム

晴天(月) 二 謝花北里各分宿地ニ於テ佐藤少尉指揮ノ許一人又
百名ヲ使用シ前日ニ引續キ作業ヲ續行セシム

各分宿地ニ於テ伊江島ヨリ飯還セル兵ハ一般ニ休養武
器被服ノ手入ヲナサシム

三 先ニ各分宿小隊ニ指揮班ヨリ分宿セシメシ柳沼上等兵
以下六名指揮班ニ便飯セシム

四 日一三〇〇。間道番司令トシテ服務ス 左記ノ者週番副官
トシテ服務セシム

陸軍軍曹長 佐藤市四郎

五一二〇〇日直勤務トシテ左記ノ者服務セシム
陸軍准尉 伊本秀男

陸軍軍曹 岡田天夫

十月三日 一 〇八〇〇作命第四八號ニヨリ伊野波大堂原附近厚地偵察

晴天(火) ノタメ左記ノ者伴ニ出發一六〇〇飯還ス
第一小隊長 陸軍少尉 武蔵仁雄

第二小隊長 同 佐藤喬

陸軍准尉 伊本秀男
陸軍軍曹 相澤大二郎

二一三〇〇日直勤務トシテ左記ノ者服務セシム

陸軍准尉
陸軍軍曹

伊本秀男
相澤六三郎

三二〇〇本部國民學校ニ於テ部隊本部勤務セシ五記ノ者各
分宿小隊長ノ許ニ復更セシム

武藤小隊長 陸一大平 飲二郎 陸一智野 宇次郎
陸一 結形 信天

佐藤小隊長 陸一 見山 十代吉 陸一 瀬谷 初男

四一三〇〇岡田軍曹ヲシテ九月分被服現況表ヲ經理室ニ提出セシム

五 本日中隊本部ハ一般休養ヲ實施ス

六 受診ノ結果左記ノ者練兵休トシテ休養セシム

陸軍軍曹

岡田 英 天

獨立隊命令號七二六〇〇獨立混成第十五聯隊命令要旨五五如シ

一 第一項 第四項省略

五 陸軍射砲中隊 陸軍上等兵 曾 田 武 二

陸軍准尉

仲本 秀男

六 日命第七四號ヨリ左記ノ者ヲシテ兵器委員ニ差出シ
勤務カセシム 同間部隊本部起居セシム

陸軍上等兵

曾 田 武 二

七 本日患者 練兵休 陸軍々曹 岡 田 英 天

八 一四〇〇第一大隊配備要圖ヲ將校全員提出ス

一〇一五〇武藤佐藤兩小隊長ヲ中隊本部ニ招致作命

第七二号ニ依ル築城並ニ分屯ニ関スル指示ヲ與フ

一 謝花北里各分宿小隊長ハ作業ヲ中上ノ器具及材料ノ

整理及分宿地移動準備ヲナサシム

獨立隊命令號一八九五〇獨立混成第十五聯隊命令省略

駐屯地命令號一三二五〇北地已駐屯地命令

一 本部所渡久地ニ開設セシ軍慰安所ヲ渡久地軍慰安
所ト呼稱ス

三 獲久地慰安所ハ十月五日〇〇〇〇ヨリ使用許可ス
 三 獲久地慰安所ノ使用ニ關シテハ北地已陸也地軍慰安
 所使用規定ヲ最ニ履行スベシ

孤券増子等一四日所敵機搭乗員ノ取扱ノ件通牒
 陸軍省第一五同時空襲敵航空機搭乗員取扱ニ關スル件通牒

陸軍

十月五日 一〇八〇 伊野波久大堂原地帯陣地偵察タメ出立ス
 晴天(木) 二二〇 日直勤務トシテ左記ノ者服務セシム
 獲久地 陸軍々曹 相澤太三郎

三 受診ノ結果左記ノ者ヲシテ練兵休トシテ休養セシム
 陸軍一等兵 大平敏一郎

四 岡田軍曹ヲシテ予備被服トシテ左記ノ者ヲ保管受領
 セシム
 夏袴 六十組 卷脚絆 一三〇組

聯隊砲中隊 陸軍一等兵 高澤乙一

右部隊本部兵器庫長員勤務ヲ命ズ

獲久地陸軍司令部

一 南西方面ニ於テ敵ノ行動ハ遂次活発化シテマ
 林田ハ瀬原福地ニ入港シ有リテ或船田ヲ第一四師
 團ヨリ配屬セラル高射砲及機關砲各ニ中隊ヲ増修
 附近ニ配置シテ港船團ノ對空掩護ニ任ズル共ニ獲久地
 一 於テ短切揚格ヲ断行ス
 二 地已隊ハ一部ノ兵力ヲ以テ獲久地港ニ於テ獲久地兵站
 部ノ揚荷作業ニ協力セントス
 三 各隊ハ左記人員ヲ獲久地揚陸場ニ差出し揚荷作業ニ
 協スベシ 左記

聯隊本部 一五名
 通信班 二〇名

吉川

十月四日
晴天(水)
獲久地

聯隊砲中隊 一五名
連射砲中隊 二名

四揚陸作業隊 作業完施ニ関シハ別ニ示ス

七 謝花北里各分宿小隊ニ於テ各小隊長指導ノ許一人
三九名使用シ陣地構築ヲナサレム

一〇八〇〇 中隊ハ兵舎内ニ於テ聯隊ノ指示事項ニ基キ勅諭
奉讀式ヲ興行ス

二〇九〇〇 醫務室ニ於テ隊長以下全員体重測定ヲ實施ス
三〇〇〇 兵舎前ニ於テ野田軍醫衛生講話ヲ指揮班

全員ニ聽講セシム
四同時伊野波及地帯陣地偵察ノ夕ニ出発一四〇 飯取ス

第一小隊長 陸軍少尉 武藤仁雄
五二〇〇〇 日直勤務トシテ左記ノ者服務セシム

吉川

十月六日
晴天(金)
獲久地

五 謝花北里各分宿小隊ハ作業ヲ休止シ作令才四ノ夕ニ
於依リ分宿地移動準備ヲナサレム
六一六二 獨上泥成第十五聯隊命令省略
七一九三 佐藤分宿小隊長以下二七名北里分宿地ヲ
接收シ中隊本部ニ集結セシム

一〇八〇〇 左記ノ者日命才六ノ夕ニ依リ患者護送ノ名
此護所患者療養所ニ出發セシム一九〇 飯取セシム

陸軍衛生上等兵 橋本市治
二〇七三 岡澤大尉ノ指示ニヨリ佐藤曹長以下二名獲久地及右

茶地ニ巡察トシテ服務セシム一五〇 飯取ス
三同時岡澤大尉ノ指示ニヨリ相澤軍曹以下二名並里及伊豆

味部落巡察トシテ服務セシム一五〇 飯取ス
四二〇〇 日直勤務トシテ左記ノ者服務セシム

陸軍口曹

相澤大三郎

五二四。伊野波方面陣地偵察タム出登一七三〇級隊ス

六二六。岡日軍曹以下千二名築城材料伐木並ニ運搬ヲ實施セシム

七。岡日軍曹ヲシテ下給品トシテ煙草(各人ナマレ五七)受領支給セシム

八。五〇〇。佐藤小隊長ハ各分隊長伴ヒ伊野波地帯陣地偵察ノタメ出發隊セシム

九。七〇〇。謝花武藤分宿小隊長以下千二三名謝花分宿地撤收シ大堂原分宿地ニ移動シ大堂原部落ニ於テ分宿地設置準備ヲナセシム

同日ヨリ武藤分宿小隊長トシテ日記記載ヲ別記セシム

獨逸軍第廿號

一。本日軍者 練兵休 陸軍一等兵 大平欽一郎
二。五三〇。獨立混成第十五聯隊命令省略

十月七日

晴天(七)

晴久地

一。七〇〇。佐藤少尉以下千三名築城器材搬出作業ヲ實施セシム 謝花渡久地間
二。二〇〇。日直勤務トシテ左記ノ者服務セシム

陸軍口曹

相澤大三郎

三。本日軍者 練兵休 陸軍一等兵 大平欽一郎

獨逸軍第廿號 四。一七〇。獨立混成第十五聯隊命令省略

會 報 五。岡日軍會報 左ノ如シ

一。明日大詔奉戴日ニ付詔書奉讀式ヲ興行ス

依テ左ノ通り心得フベシ

時刻入時

隊形 本部 聯隊砲 速射砲

尺本部ノ位置ハ營庭ノ旗竿前トス東面ノ四列側面縱

隊ニ集メ合スベシ

注意 隊暑衣袴ノ着用ヲ許可セズ

一大作命 大同時第一大隊命令受領省略

十月八日

一 二二〇日直勤務トシテ左記ノ者服務セシム

陸軍少曹

相澤 太三郎

二 本日差者 練兵休 陸軍一等兵 大平 敏一郎

三 〇八〇。詔書奉讀式ヲ興行セル中隊長以下三十二名

出席ス

四 〇九〇。大望原武藤分屯小隊陣地指導並ニ設営狀

ヲ視察シタメ出發一五〇。飯隊ス

獨資命令第五二二〇北地已隊命令

一 二マリア方面敵機動部隊來襲ノ公算アリ

十月八日一〇〇。西南諸島全地已隊ニ對シテ丙號戰備下

令セラレ

二 地已隊ハ對空並ニ海上警戒ヲ嚴ニスルト共ニ對空戰

備ヲ強化セントス

三 各隊ハ對空海上警戒ヲ嚴ニシテ一部ノ對空射擊部隊

ヲ戰斗配置ニ就カシメ主カハ迅速ニ掩蔽下ニ退避

シ得ルノ準備ヲナスベシ

四 各隊ハ速ニ配備狀況並ニ處置ノ概要ヲ電話ニヨ

リ報告スベシ

同時作命第五二號ニ依リ岡田軍曹以下五名ヲ監視

哨トシテ柴田中尉ノ許ニ差出シ同官ノ指揮ヲ受ケシム

六 一 二 三。佐藤小隊長以下二十二名伊野波部落分屯

ノタメ出發同部落内ニ分宿セシメ陣地構築ヲナサシム

七 一 二 〇。大望原武藤分屯小隊ヨリ佐々木兵長以下二名

連絡ノタメ來隊一三〇。飯隊セシム

獨資命令第八一五〇

獨立混成第十五聯隊命令省略

九 佐藤曹長ヲシテ中隊野營三團ニシテ事務ヲ當ラシム

十月九日

二二〇〇日直勤務トシテ左記ノ者服務セシム

晴天(旦)

陸軍及昔

岡田茂夫

獲久地

二〇八〇〇対空監視哨トシテ一條兵長以下四名柴田少尉、

許ニ差出シ同官ノ指示ヲ受シム一七〇。飯隊セシム

三〇三〇伊野波分宿地及佐藤小隊陣地指導、夕メ出発

一七〇〇。飯隊ス

四一三〇。佐藤曹長ヲシテ十月分下士官兵俸給及増俸

ヲ受領セシメ各分屯地ニ出張俸給及増俸ヲ支給セシム

金三十五百六十一円四十八銭也

五佐藤分屯小隊陣地構築作業開始セシメ同時協力人夫

トシテ三名使用ス

六武藤小隊小隊長以下二十三名陣地構築作業ヲナサシム

同時協力人夫三名ヲ使用ス

備後守七五三、獨立混成第十五聯隊命令省略

備後守七五三、同時此地已隊命令省略ス

十月十日

一〇六三〇左記三名ヲ対空監視哨トシテ石井少尉、許ニ差出シ

同官ノ指揮ヲ受ケシム

陸軍上等兵

佐藤春雄

同

上村丑之助

一等兵

村上充治

二〇七〇〇空襲、敵アリ

二〇七〇五敵機ニ機銃ガ上空ニ現ルル同時中隊八直ケ中

號戦隊、態勢ヲ移ル

四同時命令受領者トシテ左記三名ヲ部隊副官ノ許ニ差出

又 左記

陸軍曹長

佐藤市四郎

上等兵

青野和久

一〇六三〇

獨立司令部五〇七三〇北地已隊命令

一 華兵

伊藤倉雄

一〇七一〇本部町上空ニ侵入セル敵機數機連合約四十機ハ
 目下地已隊上空ヲ跳梁中ニシテ瀕底捕地及運天港
 ニ碇泊中ノ艦船ニハ相半ノ損害アルモノ如シ
 二地已隊ハ豫メ準備セル防空射擊部隊ヲ以テ見敵必
 隊上ヲ期スルト共ニ彈藥糧秣ノ分散集積ニ遺憾ナキヲ
 期シ空爆ニ依ル損害ヲ極度ニ減少セントス
 三各獨立中隊ハ速カ一部隊本部ニ復歸シ聯隊砲及
 速射砲ハ砲及携行彈藥ヲ速カニ聯隊新陣地附
 近ニ待避セシムヘシ
 工兵中隊ハ一部ヲ以テ聯隊本部集積彈藥ノ搬出
 ニモ力ヲ以テ部落ノ破壞消防ヲ準備スヘシ
 四石井少尉ハ防空監視ニ任ゼラル兵四〇名内ニ〇名

ヲ藤本中尉ニ引渡シ本部集積彈藥ノ搬出ニ協
 カセシムヘシ

五高級軍醫ハ本部南側洞窟附近ニ救護所ヲ開
 設シ傷者ノ收容ニ任ズヘシ

六第一第三中隊ハ各々ニケ小隊ノ兵力ヲ以テ本部ヲ
 救護スヘシ

六同時伊野渡及大堂系ニ傳令ヲ走ラン中隊本部ニ主力
 ヲ集結セシム

七〇八〇五佐藤小隊長以下十八名到着直々ニ中隊長ノ指揮
 ヲ受ケシム

八〇八五〇武藤小隊長以下十名到着直々ニ中隊長ノ指揮
 ヲ受ケシム

九 部下到着セルヲ直々ニ砲及携行彈藥ノ搬送ヲナシム
 一〇 敵機ハ數回ニ亙リ式ガ上空ニ飛來シ先本部上空ニテ空

一行別除
一行遊軍

爆撃す。同時我ガ高射砲ハ之ニ盛ニ應射スルヲ見
 一 二〇九ニ敵機ニ機再ニ我上空ニ現ハレ直ニ我対空射撃
 部隊ハ之ニ應射セシメ敵機ハ我ガ後久地所内ニ底
 空ニ爆撃投下セシテ日没スルヤ同時火災ヲ起シニ三
 ケ所ニ炎上スルヲ見ル
 一 二 部下中隊主力ヲ以テ死力ヲ決シ第三彈藥庫ニ向テ彈藥
 ノ搬出及延火防止作業ニ佐藤小隊長ヲシテ破壊班
 長ヲ命ジ全カヲ注キ沈火及彈藥ノ搬送ニ仕セシム
 一 三 一三〇〇町内ノ火災ハ沈火セリ
 一 四 一五〇。各小隊ハ陣地ニ飯隊セシメ掩蔽下ニアリテ作業
 ヲ續行セシム
 一 五 二二。獨立混成第十五聯隊命令
 一 敵情ハ既ニ示セル如ク旅團ノ情報ニヨルニ空襲班ニ一部上
 陸ノ公算大ナルモノアリ

獨立混成第十五聯隊

二 地区隊ハ一部ノ連絡要員ヲ現本部位置ニ残置シ主
 カハ新陣地既備ニシテ状況ノ推移ニ即應セントス
 三 省略
 四 本部隊及独立中隊ハ左記人員ヲ残置シ大村大尉ノ
 指揮ヲ入ラシムル
 本部隊書記 一 傳令 一
 通信班 下士官 二 兵 八
 電報班 下士官 一 兵 二
 獨立中隊 各兵 三
 醫務室 下士官 二
 炊 事 下士官 一 兵 二
 五 省略
 六 各獨立中隊ハ夜ヲ徹シ現任務ヲ續行スル
 一 大 同時に敵機ノ襲撃ヲ受ケテ損傷ヲ受ケテ作業者ナシ
 一 下 同時に敵機ノ襲撃ヲ受ケテ損傷ヲ受ケテ作業者ナシ
 一 七 同時に敵機ノ襲撃ヲ受ケテ損傷ヲ受ケテ作業者ナシ

十月十一日
晴(火)

泉

一 仲本准尉以下指揮班十五名中隊本部設管並一中隊
指揮所構築作業ヲ行セシム

二 佐藤曹長以下七名本部國民學校ニ位置セシメ命令受
領並ニ部隊本部勤務員トシテ志附大尉ノ指揮ヲ受ケ
シム

三 大堂原武藤少尉以下二十名前日ニ引續キ作業ヲ續
行セシム同時炊事婦トシテ女子人夫ニ名ヲ使用ス

四 伊野波佐藤少尉以下二十名前日ニ引續キ作業ヲ續
行セシム

五 〇九〇本部學校勤務及連絡者指導ノタメ出發ニ
飯券ス

十月十二日
晴(水)

一 〇八〇岡田軍曹ヲシテ酒保品トシテ金草槍運來五
各人一袋ツツ六十四名分受領支給セシム

二 仲本准尉以下十五名前日ニ引續キ作業ヲ續行セ
シム

三 佐藤少尉以下二十名前日ニ引續キ作業ヲ續行セ
シム同時炊事婦トシテ女子人夫ニ名使用ス

四 大堂原武藤分屯小隊小隊長以下二十名前日ニ引
續キ作業ヲ續行セシム同時女子人夫ニ名ヲ使用ス

五 本部佐藤曹長以下七名前日ニ引續キ傳令及勤務
員トシテ服務カセシム

六 〇四〇空襲警報發令同時中隊警戒ヲ嚴チシムト
天ニ工事ヲ晝夜兼行作業ヲ續行セシム

七 一六〇泉河原中隊本部ニ下士官以上集合セシム左記
教育並ニ人事ニ關スル打合せヲナス
一 對戰車射撃ニ關シテ
二 適切ノ指揮命令

三ノ部
四ノ部

三 幹部ノ準備計画ニ就イテ
四 人事ニ関スル打合ニ付イテ

十月十三日

曇天(不)

泉河原

一〇九三。小官部隊長状況報告ノタメ復久地聯隊本部ニ出
発一〇。飯塚ス

三〇九。部隊本部勤務要員トシテ相澤軍曹ヲシテ服務
セシメ同時佐藤曹長ヲシテ中隊本部ニ復返セシム

三 仲本准尉以下十八名前日ニ引續テ作業ヲ續行セシム

四 佐藤少尉以下二十一名前日ニ引續テ作業ヲ續行セシム
同時炊事婦トシテ女子人夫二名ヲ使用ス

五 大堂原武蔵少尉以下二十名前日ニ引續テ作業ヲ續
行セシム同時炊事夫トシテ女子人夫二名使用ス

六〇七二。空襲警戒報告
中隊ハ掩蔽下ニ在リテ作業ヲ續行セシム

陸軍准尉 仲本考男

十月十四日

晴天(金)

泉河原

一〇九。小官各小隊陣地指導ノタメ左記ノ者併ニ出発一五
〇。飯塚ス

陸軍准尉 相澤太三郎
駐屯地會報ニ左記ノ者ヲ出席セシム
陸軍少曹

三二五。將校集合ニ依リ佐藤少尉ヲシテ出席セシム

四〇七〇。各小隊及指揮班ハ前日ニ引續テ作業ヲ續行セシム

一五〇。以降作命第六三號ヨリ作業ヲ中止セシメ移動準備
ヲナサシム

獨立混成隊

五一三。獨立混成隊第十五聯隊命令要旨左ノ如シ

一 皇國ハ今明日ニ亘リ台灣附近ニ於テ航空突撃ヲ企圖ス

軍ハ管内ニ於テ航空基盤ヲ確保シ右作戰遂行ニ協力ス

故國ハ伊江島ノ兵力ヲ増強シ併ニ飛行場ノ補修ニ遺憾
ナカラシム 本部地正隊ハ一部ノ皇火器及復久地準砲附

三平加入

近^在近^置ニシテ輸送間ノ保護ニ仕ズ

二 第二項 第三項省略

四 第三大隊(屬通信ノ一部)及速射砲中隊ハ新ニ改稱スル本部地已隊長ノ指揮下ニ入ルベシ

五 第五項 第十一項省略

六 一三〇〇作命才五五号ニ依リ新ニ改稱スル本部地已隊長(中隊)ノ指揮下ニ入ル

七 同時伊豆味宇工部隊本部ニ命令受領者トシテ一條兵長以下三名ヲ差出レ待期セシム

皇命才大號

八一五〇〇南地已隊長命令要旨左ノ如シ

一 皇國ハ今朝日ヲ期シテ航空決戦ノ企圖ヲ有ス

旅團ハ¹¹⁸長⁰²一大P一甲ヲ率ヒ伊豆出²到リ飛行場

兵力ヲ強化セシム

北地已隊長ヲ新ニ南地已隊長ニ屬セヨラレ

二 南地已隊長本部地已隊長トナリ旧南北地已隊長ノ任務ヲ續行セムトス

三 第三項 第六項省略

十月十五日

晴天(三)

泉河原

一〇六〇各小隊長下士官ヲ伴ヒ伊野波部藩ニ中隊指揮班各小隊設營地選定ノタメ出発一〇〇〇飯隊ス

二 一〇〇小官新陣地及倉管地厚告^{タメ}伊豆味宇工部隊本部ニ出発報告後一五〇〇飯隊ス

三 中隊八一三〇〇ヨリ大堂原武藤分屯小隊及指揮班ノ移動ヲナサレメ一七〇〇武藤小隊及指揮班ヲ伊野波部藩ニ分宿ス

四 岡田軍曹ヲシテ下給品トシテ金鶏各人五個受領支給セシム

五 岡野下給品トシテ清酒(各人ニ合鬼)六十四名分受領セシム

六岡田軍曹ヲシテ糧秣三千日分ヲ受領セシム

十月十六日
晴天(日)

一〇八〇。佐藤曹長ヲシテ前途資金トシテ一金五百円也ヲ受領セシム

伊野渡

二泉阿原一分屯中ニ佐藤少尉以下予ニ名伊野渡部落内ニ移動分宿舎營セシム

三各分屯小隊其ノ中隊長ノ指揮下ニシラレム

四〇八〇。小官新陣地復察ノタメ分隊長以上ヲ伴ヒ陣地復察ヲナシ一ニ〇〇。飯隊セシム

五武藤小隊指揮班。午前環境ノ整理ヲナサシム午後ハ新陣地ニ依ル作業ヲナサシム

六同日以降。炊事ヲナサシム

七。八〇。本部地已隊命令省略

十月十七日

一〇四三〇。情報

晴(天)

伊野渡

那覇ヲ去ルルヨリ軒及至五〇軒。地ニ敵機動部隊ニ方面三分レテ索動中ナリ。空襲ヲ恐レテ行待避準備スル

二同時中隊全員待避準備ヲナサシム

三指揮班及各小隊ハ新陣地ニ依リ作業ヲナサシム

四〇八〇。情報

一。台參情報電五八九號

二。台島全地ニ第一種警戒警報發令

三。敵機動部隊ノ豫測ヲ新サス

半作命

一〇〇〇。本部地区隊命令

一。敵ノ新機動部隊本島ニ接近シテ空襲及艦砲射撃ノ公算大ナリ

二。第一項。第四項省略

三。余ハ伊豆味部隊本部ニ在リ

十月十六日

六同時中隊八甲銃戰備準備ヲナシ内攻班編成並ニ教
育ヲナス

七三〇佐藤隊長ヲシテ伊豆味早工部隊本部ニ連絡セム

八二〇情報

台
報

一海軍情報戒機發

沖繩南方八二度四〇哩ノ地英ヲ地道中ナリ

航母數不明ナリ

九五〇中隊八本部地区隊(早工部隊)ノ指揮下ヲ離シ伊
江島地区隊(栗田部隊)ノ指揮下ニ復歸セシムル

十五〇以降作業其他一齊ヲ中止し移動準備ヲサレム

二六〇一條兵長以下三名早工部隊本部ヲ中隊ニ復歸セム

十月七日

一〇〇佐藤曹長以下三名伊江島中隊野営地設置ノタメ
出發伊江島ニ先行セシメ設置ニ當ラシム

晴天(水)

同時第一回輸送トシテ佐藤少尉以下十三名同地兼伊江
島部隊本部前テ設置セテ指示ニ從ヒ民衆ニ分擔セシム

三三〇小宮以下七名第三回輸送トシテ同地公衆伊江島
部隊本部前テ設置者佐藤曹長ニ指示セシム同地民衆
ニ就ク

四同時武藤少尉以下十八名残務整理並ニ糧秣整理ノ
タメ伊野原ニ位置セシム

五二五〇小宮部隊本部ニ輸送報告ヲナス

六三〇輸送間ノ任務ヲ解キ佐藤少尉以下四名小宮指
揮ニシテシム

七本日全營日直勤務トシテ佐藤少尉ヲシテ服務セシム

十月十九日

一八〇佐藤少尉以下四名各個掩体構築作業ヲサレム

晴天(水) 二二〇作命第一大工號ニ依リ作業ヲ中止シ伊野原ニ移動準備

甲正島

備ヲナシム

三同時中隊命令

一解隊本部ハ後久地ニ取隊シ前任務ヲ續行セトス

二中隊ハ作命第六十二號ニ依リ伊野取ニ入り前任務ヲ

續行セトス

三任務ヲ射ハ中隊全級ヲ指揮シ中隊ノ移動ヲナスル

四相澤軍曹ハ人員搭載係ニシテ中隊人員搭載ニ任ズル

五三橋伍長ハ荷物搭載係ヲナスル

六小宮ハ兵一名ヲ伴ヒ今明中上伊野取ニ到ル

四八台部隊本部傳令トシテ柳田上等兵ヲ服務セシム

五三台三橋伍長以下六名ヲ先發トシテ部隊副官ノ許ニ差込

同旨指示ヲ受ケル

六任務隊長ヲテ加給品トシテ煙草(金鶏各人五個)受領

支給セシム

七三台ハ兵器彈藥糧秣ヲ日軍取ニ搬送セシム

伊正島地区隊命令

一解隊ハ旅團ノ命令ニ基キ伊正島地区隊ノ任務ヲ遂

行シ島地区隊(配属部隊ハ元々如シ)ニ移讓シ舊態ヲ

ニ復取セトス

二第一項第三項省略

四本部及第一大隊独立中隊ハ兵器彈藥糧秣資材ト

共ニ千日以降伊正島地区隊人員及荷物搭載係ノ指示ヲ

舊態ニ依リ附近ニ復歸シ前任務ヲ續行スル

彈藥兵器資材ハ柳田軍曹等ニ集積スルナラ

逐次陣地ハ舊態ニ依リ附近ニ分散集積スル

五石井ノ村ハ人員及馬匹搭載係トシテ曉部隊ノ砲

臺シ伊正島嶺橋ヲ控ケル人員馬匹搭載ニ任ズル

六第六項省略

七 武藤少尉ハ荷物搭載掛下ナリ、曉部隊ト協定シ、遂
 次到着スル荷物ノ輸送ニ任スル
 八 各隊ハ舊露地復旧ノ急務、人員ヲ本一九日ヨリ
 甲江島候移駐ニ是ルニ、解散副官ノ指揮ニ依リ、舊露地
 ニ資行セラル
 九 同時ニ隊集積荷物監視哨トシテ、吉川伍長以下十二名服
 務セラル

五 金谷日直勤務者トシテ、記ノ者、服務セラル
 陸軍准尉 仲本秀男
 二 作命第六士銃ニ依リ、武藤少尉ヲテ、疲乏地、準頭ニ任テ
 荷物揚陸搬送作業ヲサレル

十月二十日 五 金谷日直勤務者トシテ、記ノ者、服務セラル
 晴天(不) 二 本日輸送船舶ノ都合ニ依リ、明日一日延期ス

甲江島 三 中隊ハ金谷地ニ歸隊、金谷ニ就ク
 四 五 會田伍長以下十二名、荷物監視哨トシテ、交代服務
 セラル

五 本日金谷日直勤務トシテ、記ノ者、服務セラル
 陸軍曹長 佐藤市四郎
 六 先鋒トシテ、橋伍長以下十二名、任務終了中隊ニ歸隊、隊
 ノ指揮セラル

十月二十日 一 七 〇 再ニ準頭集積セラル
 晴天(不) 二 本日輸送船舶ノ都合ニ依リ、明日一日延期ス
 甲江島 三 準頭附近民家ヲ利用シ、金谷ニ就ク
 四 五 〇 三橋伍長以下十二名、集積荷物監視哨トシテ、服務
 セラル

五 二 〇 情報

一此場方面敵機動部隊及在支米空軍ハ明目ヲ期シ

ハ視傷及台灣ノ空襲ヲシテ報ヲ入ケス

二各隊ハ一層警戒ヲ嚴メシム

六同時中隊ハ砲及彈藥ヲ準備附シテ分散配置シ時期ス

陸軍司令部ニテ五〇強正隊或第十五師隊命令省略

會報ハ何時會報

一敵機種類ハ從前通り取扱ハシテ下隊知照ス
九本司令部直動務トテ左記ノ看服務セシム

陸軍陸尉

仲本秀男

十月二十日

伊豆島

伊豆島

伊豆島

一〇〇名分海軍近ニ分散配置セシ彈藥砲ヲ準備乘積
セシム

二〇〇名在藤ノ村以下甲六名伊豆島旧埠頭乘船渡ル地
埠頭到着大休上後伊豆島旧埠頭ヨリ中隊本部能送ス

三隊務整理下ニテ設置セシ武藤ノ村以下十八名中隊長
ノ指揮下ニシテ但シ武藤ノ村ハ引續キ揚陸機送ヲ續行
スルナ

四三〇名舊露島地入連隊分也小隊會田伍長以下十二名
同上分也地ニ歸還シ依然陣地ヲ據ルナ

五此地ハ隊命令

六情報ニ依リテ支米空軍ハ島方面敵機動部隊作
戦ニ対応シ明目三台島及本島ノ爆撃ヲ企圖シ各基地ニ
於テ準備中ナルニシテ

七此部隊ハ特ニ明黎明以後ニ於ケル對空警戒ヲ最メシム
トシテ天ニ敵機ハ夜ヲ準備セシム

八揚陸機動部隊ハ黎明以後ニ於ケル對空警戒
ヲ最メケルナ

九第一線向大隊ハ明黎明以後ニ於ケル對空警戒ヲ準備スル

五甲江島より海軍部隊ハ艦中ニ於ケル對空射撃隊
備ヲ周到ナラセム

六甲余ノ諸隊ハ依然前任務ヲ續行スル

ニ于テ本部國民學校ニ在リ

情報
六二四五五情報

一 在支米空軍ノ公報ニ據ルニ是昨午日米南西地区及
軍飛行機ノ機動多ク情況ニ鑑ミ警戒ヲ嚴メテシテ要ス
ニ甲部北島トイフ一方向ヲ攻撃中ノ敵ハ米第ニ艦隊第
三艦隊及壕洲艦隊ニテ既報ノ如ク其ノ矢力ハA...
B... C... D... E... F... G... H... I... J... K... L... M... N... O... P... Q... R... S... T... U... V... W... X... Y... Z...
大ナル輸送船團アリニシテ他ニルン島東方海面ニ第五艦隊
ノ一部(確カセル者) A... B... C... D... E... F... G... H... I... J... K... L... M... N... O... P... Q... R... S... T... U... V... W... X... Y... Z...
ニ在リ基キ台湾沖航空戦艦並ニルン島沖ニ於ケル損傷
艦隊 A... B... C... D... E... F... G... H... I... J... K... L... M... N... O... P... Q... R... S... T... U... V... W... X... Y... Z...

反ソリニ嶋ハトイフ嶋方面ノ基地整理備不振(同機故
略意ノ如クニアルタメ)等ノ務莫ハ見敵大ニ降敵力ヲ復成
スルタメ時ニ我ノ棄入ハキ手放ナリ

情報
六二八〇情報

一 我ガ航空部隊ハ六二九...
島ニ復入ラシメ全圖ニル船團並ニ護衛部隊ヲ攻撃スル戰果
ヲ收メリ
喪死 大型輸送船一、夏破 輸送船一 空母二
戦艦二

海軍司令部ハ八二〇... 独立艦隊第十五聯隊命令者略

會報
九同時會報

一 愚敵日從前通りノ噴着實施ス
場所ハ從前通りトス 一ニ〇〇以降既降トス
二 各隊ハ現所有ノ糧食軍糧藥米等ヲ十月二日〇〇迄ニ本部

ニ差出スル

速射砲隊砲八名ヲ同時刻迄ニ差出スル

同時海堤初止用大綱及細綱ヲ差出ル以上杉浦中尉

指示ヲ受ケル

ニ各隊衛兵要員トシテ各三名中隊ニ配置スル

IA及II中隊八司令要員ヲ合セテ

三名外ニ兵及隊砲中隊八喇以テ差出スル

明日上番ハ速射砲中隊ヲ歩哨掛一歩哨ヲ差出スル

ハ中隊下士官以上ヲ伴ヒ各小隊陣地及中隊戦車指揮所

偵察ヲ多ク伊野坂附近ヲ偵察スル

ニ中隊ハ武器被服ノ手入及休養ヲナシ

ニ左記ノ者三名ヲシテ本部部隊本部勤務要員トシテ

本部門兵隊ニ位置セシメ服務セシム

陸軍兵長 前山信一

一等兵 鈴木勲

四七記ノ者三名ヲシテ本部門兵隊ニ位置セシメ命令受領セ

ニ中隊運送業ニ服務セシム

陸軍中隊長 佐藤田四郎

一等兵 伊藤金雄

五佐藤中隊長ヲシテ七記ノ品ヲ備被服トシテ受領セシム

ニ石炭 二〇本 二靴 二白組 二毛巾 二組

四被服 一〇枚(二用) 五綿上靴 一組

六六〇日衛兵道番將校服務別表及隊員名簿ヲ入

同時 戦法研究会ニ属スル

同時 独立混成第十五聯隊司令部省略

同時 命令詞受領

今次敵機動部隊ヲ討伐スルニシテハ具ニ陸軍上士

克ク共同ニ及果ヲ收メタルノニ月ニ及モ海軍部員
ノ御言葉ヲ承ルル在傳言ス

八揚陸作業續行中ノ武藤少尉任務終了ノ中隊ニ復取
同時大連原分也也ニ分也引續キ續行セム

十月二日 二〇〇〇相澤軍曹ノ子船隻軍二海没防上用大綱ニ卷

晴大(月) 相澤中尉ノ討ニ返敵セム

伊野取 同時兵器委員ヲ左記ノ者ヲ受領セム

中野理美夫 一スニドル根若キニ地ヲ入布若干

二大行ノ子編成ニ伴ヒ左記ノ者ヲ杉浦中尉討ニ送ルニ服
務セム

陸軍一等兵 林次男

三大堂原分也武藤小隊長以下三二名前日引續キ

作業ヲ續行セム

四佐藤小隊及指揮班舊陣地及指揮所作業ヲ續行セム

同時女子人支炊事夫トシテ使用ス

五三〇〇小隊大連原分也小隊陣地指揮連導橋築キ多ク終

ニシテ歸隊ス

陸軍大連 六一六〇獨立砲隊第十五聯隊命令

一本職明テ音取法研究会出席ス及ニ百ノ子座ヲ以テ

那霸中軍司令部ニ出張ス

二ノ二項ノ三項省略

陸軍大連 二同時精口神社合祀者調査及内別有略

會報 八同時會報

一聯隊八獨立砲隊第四旅團ノ編成中ノ入ラシムル 續轉移

ノ時期ヲ昭和十九年九月二十日トス

二ノ二項ノ三項省略

皇務連絡 九同時研究問題提起ニ関スル件省略

六同時情報速達三周ハ作道報省略

七同時情報速達設法要領一例賞詞第三機隊軍士兵

小林勇藏省略

三同時航空作戦助力一周ハ感謝電件通標省略

三國田軍曹等シテ非常用ヨーンズミヤク受領セシム

一ロソクミヨクミヤク燈油一九七

○

百三番 一〇〇〇小宮各隊長戦隊研究會ニ送部ス三〇〇騎隊ス

晴天(夜) ニニ〇情報

伊野坂

一強果付近ヲ北東東進セシ敵機動部隊ハ本日〇九三五番

州島ニ來襲セリ〇九三五西部隊部ヲ襲撃セシ襲撃報告セリ

二阿仁島ニ來襲シ算ヤシ行警戒ヲ嚴シクス

三各隊ハ軍用品ノ疎用分散ニ用シ遺算キヲ期ス

此後ハ警戒情報等ハ中ナリ

三任藤小隊及指揮班等三名 前日ニ引續キ作業ヲ續行

セシム同時炊事夫トシテ女子一人又二名前日ニ引續キ作

業ヲ續行セシム同時炊事夫トシテ女子一人又二名ヲ使用セシム

四大望原分屯武藤小隊長以下三名前日ニ引續キ作

業ヲ續行セシム同時炊事夫トシテ女子二人名ヲ使用セシム

五二五〇伍士泥成第五聯隊命令省略

六九言兵長以上ヲ集木合セシム因以對戰軍ニ對シテ教育ヲ大

○

十有言各一任藤小隊以下三名指揮班等三名前日ニ引續キ作業ヲ

曇天(夜) 續行セシム同時炊事夫トシテ女子一人又二名ヲ使用セシム

伊野坂ニ大望原分屯武藤小隊長以下三名前日ニ引續キ作業ヲ續

行セシム同時炊事夫トシテ女子一人又二名ヲ使用セシム

六任二隊曹長以下七名本部國民學校ニ在リテ分隊員並ニ部

隊本部勤務ニ服務セシム

陸軍部第五〇五號 陸軍部第五十五師隊命令省略

會報 五同時會報

一、入浴時間割り、如上定ルニ付、嚴守シテ

將校 一六〇 一七〇

下士官 三〇〇 一八三〇

兵 一八〇 二〇〇〇

六同時週番勤務割表

週番將校

期間

陸軍少尉 武藤仁雄 十月十日—十日

陸軍中尉 吉岡代善 十月十日—十日

規定 六同時部隊保育規定省略

八同時大東亞戰役功績事務提要、後奉省略

十月十日、部隊本部使役トシテ、見山一等兵以下三名、經理室ニ差

晴天示 於各曹長、指示ヲ受ケレム

伊野波 二佐藤少尉以下指揮班、八名前日引續キ作業ニ續行セム

同時、八次事、天トシテ、二名ヲ使用セム

三、大望、東武藤少尉以下三名前日引續キ作業ヲ續行セム

四、同時、八次事、天トシテ、女子、二人ヲ使用セム

五、佐藤曹長以下七名前日引續キ、命令運給及部隊本部

勤務ニ服務セム

五、二五〇、八名、課題提出(對戰車戰手夜襲ヲ要領)

六、二〇〇、四澤大尉、口達指示

伊野波、本部、學校ニ移動ス、ト、部隊長、命令アリ

十月十日 二〇〇〇、小宮、駐屯地會報ニ出席ス

休用(金) 六同時、軍風紀ニ要注、意、奉例集、受領ス

後久地 三、三〇、佐藤、小隊、隊長以下三名、伊野波、分宿、地、撤收

本部國民學校自中隊本部消金三移動久
四同時小宮本部國民學校二位置久

自傳令陸軍中隊

村上元治

五同時仲本准尉以下指揮班八名中隊戰鬥指揮所構築
多々大連東武藤分屯小隊二位置二移動也

六三〇國田草曹外一名中隊戰鬥設置七レモ職務整理ヲ
ナシム

七大連東武藤少尉以下二三名前日二引續キ作業ヲ續行
セシム

八國田草曹ヲ下給品トシテ金銀各人三個六四名分發
領支給セシム

陸軍令九號九二五号獨立混成第三聯隊命令省略

十同時巡察將校差出區分表受領首略

二同時公署演習見學子更紀計畫圖中隊關係尤一知レ

見學子日時

見學子課目

二月六日 一日 傳説之英雄シテ九場合村中隊戰鬥

陸軍中尉

古川十代憲

五五記勤務別表ヲ服務セシム

日直勤務別表

古川隊

日直下士官

日直上等兵

六陸軍曹團因茂天

陸軍兵長

前山信一

七日直 伍長三橋大天

日直兵長

佐藤百次郎

八日直 伍長吉川幸一

日直

泉井有

九日直 兵長植木勝部

日直

佐藤親文

一〇日直 伍長吉川幸一

日直

板橋政敏

一一日直 伍長三橋大天

日直

前山信一

一二日直 陸軍曹團因茂天

日直

佐藤百次郎

1. 兵舎内外特ニ兵舎内ノ食器棚等保固

2. 排水溝ノ清掃

3. 便所ノ清掃

等十分三ノ三ノ実行ニ要ス

ニ砲ノ捕殺

薬物ニテスル砲ノ殺傷ハ時ニシテ効果甚ク薄シ

故ニ各個ニ砲ヲ一本製作シ余額ヲ見テ砲ノ捕殺ヲ勵

行スベシ

捕殺スル砲ノ煙草等箱等ニ納メ毎朝八時各隊毎ニ員

數ヲ入差出スベシ(五ノ五ノ)

砲ノ差遣ニテハ手指ハ必ク洗滌スルモノトス

ニ其他砲ノ取日ノ活用ニ努ムベシ

四捕殺長好ナル者係ニ賞品ヲ與フ

ニ之ヲ不足ナル現状ニ付煙草ノ大種トシテ空缶等ニ火種

保存スル方法ヲ研究シ之カ実行ヲ計ラレ度シ

十月三十日

晴天(日)

獲久地

一ノ〇〇伍藤少尉以下三名前日引續キ作業ヲ續行セシ

二ノ〇〇東島受領員トシテ引續キ吉田島十部ヲ差出シ作

中尉指示ヲ受ケテメノ士ヨリ軍馬三頭ヲ受領セシ

三ノ〇〇東京武蔵小隊小隊長以下三名前日引續キ作業ヲ

續行セシ同時炊事夫トシテ女子人三名ヲ使用セシ

四ノ〇〇大連東指陣班停本准尉以下二名前日引續キ作業ニ從事

セシ

五ノ〇〇中隊本部前日兵長以下三名部隊本部勤務要員トシ

テ引續キ服務セシ

六ノ〇〇本日日中隊長以下中隊本部及事務室ヲ本部國民

學校ニ移ス

七ノ〇〇尤記草憑三頭ヲ配屬セシ

中隊命令

- 一 寒原 金山号
- 二 晚原 大正号
- 三 晚原 桃山号
- 八三〇 中隊命令次ノ如シ
- 一 中隊八軍馬三頭ヲ配属スル
- 二 各小队ニ正八大正号 正八桃山号 其配属ス
- 三 各小队ハ使用管理ニ付テハ別ニ指示スルニ取敢テ不察ス
- 七〇

丁、取馬勒策鞍、鞍鞍ハ小队ニ於テ準備スル
 四、中隊本部勤務要員トシテ左記ノ者ヲ本日ヨリ中隊本部ニ差出スル

陸軍一等兵 渡辺清三
 兵團田軍曹ハ經理室ノ連絡トシ直ニ馬糧ノ受領ヲナスル

連隊命令

六各小队ハ馬取扱兵ヲ中隊本部ニ差出スル
 九三五 独立混成第二旅隊命令
 一 臨時軍演ヨリ隨隊團員ヲ配属セル儀ヲ十月廿日各隊ニ配属ス各隊ハ所要ノ兵力ヲ差出シ配属スルニ付テハ左記ノ如シ
 配属区分左記ノ如シ
 本部隊ハ大隊等ニ大隊等天隊IA.P.省略
 TA. 金山号、桃山号、大正号
 二 第一頭省略

會報

一 同時會報ノ受領省略
 二 同時護衛隊將兵ニ與ル訓示ノ受領省略
 二六〇 中隊命令
 一 陸軍上等兵 曾田武二
 右中隊指揮班ニ編入ヲ命ズ
 二 陸軍一等兵 鈴木勳
 右第二小队ニ編入ヲ命ズ

三 陸軍 兵長

佐 三木 源作

目 兵長

佐 藤 正

同 目

井上 信一

右 各 部 隊 本 部 衛 兵 勤 務 要 員 下 等 中 隊 本 部 二 等

勤 務 人 員

四 事 務 要 員

陸 軍 二 等 兵

清 野 和 夫

中 隊 長 傳 令 陸 軍 一 等 兵

阿 上 充 治

中 隊 長 取 扱 兵 陸 軍 一 等 兵

渡 辺 清 三

右 頭 書 通 り 中 隊 本 部 勤 務 人 員

五 陸 軍 一 等 兵

二 瓶 利 夫

同 目

永 井 千 三 三 門

右 各 個 有 小 隊 二 復 販 人 員

六 陸 軍 上 等 兵

佐 藤 春 男

陸 軍 一 等 兵

伊 藤 若 雄

右 大 望 原 二 等 一 件 本 隊 尉 指 揮 人 員

七 陸 軍 兵 長

前 山 信 一

右 個 有 小 隊 二 復 販 人 員

以 上 向 左 明 三 日 中 二 其 一 任 務 二 就 人 員

服 裝 八 個 人 裝 備 携 行 人 員

八 田 田 軍 曹 八 中 隊 本 部 二 復 販 人 員

九 陸 軍 一 等 兵

林 次 男

同

生 田 目 林 次

右 晚 森 大 正 号 及 桃 山 号 一 等 取 扱 兵 人 員

十 月 三 日

晴 天 (烟)

渡 久 地

一 八 八 〇 佐 藤 少 尉 以 下 二 名 前 日 一 引 續 作 業 引 續 行 各

二 〇 〇 〇 大 望 原 分 包 武 隊 少 尉 外 左 記 一 名 陣 地 構 築 完 成

報 告 並 三 事 務 運 送 路 夕 夕 未 隊 三 〇 〇 販 隊 人 員

陸軍准尉

仲本秀男

三大學原武隊小隊會田隊長以下三名同指揮班

相澤軍曹以下七名前是引續工作業續行也

同時炊事夫トシテ女子人更ニ名ヲ使用セシム

四三〇橋本衛生上等兵ヲシテ衛生材料トシテ石灰ニ俵

ヲ受領セシム隊ニ支給セシム

出岡田軍曹ヲシテ經理室ヲシテ積糶米^註俵^註ハニ箱

味噌一樽半同時伊野坂白路營地ニ分散貯藏セシム

六本日より部隊本部勤務委員トシテ左記三名交代

服務セシム

陸軍兵長 佐々木源作 陸軍中尉 佐藤正

田 軍兵 井三信一

七左記ノ者ヨリテ中隊急取扱兵トシテ服務セシム

兼急金山号 陸軍二等兵 渡辺晴三

靴履 大正號 陸軍一等兵 生田日林治

同 桃山號 同 杯次 男

八其他一部編成暨及勤務入替ヲ三日中隊命令ニ依リ

實質セス

陸軍第九號 九五〇獨立混成第十五聯隊命令

一兵精勤章別紙ノ通り附與ス(十月十日付)

二兵進級ニ因リ別紙ノ通り心得ル(十月十日付)

三第三偵省略

會報

同時會報

一各隊八自轉車修理ニ經テハ兵ヲ調査シ十月十日會報

時兵器委員ニ提出ス

二各獨立中隊ハ路軌工務兵ハ六月十日自正午迄

石井少尉ニ報告ス

二十日ヨリ左記要領ヨリ單務ヲ開設ス

1. 場所 元速射砲兵舎

2. 時間 一七〇〇—一九〇〇分

3. 販賣品目

① 計粉十五銭 ② 木ネトフライ 二十銭

③ 木ネ 三十銭 ④ カツトツ 五十銭

規定時間以外絶対二軍發二兵ヲ禁ス

三進級命令中隊関係者ノ如シ

陸軍上等 二瓶 俾 陸軍上等兵 佐久間正二

同 柳沼善則 同 鈴木清

同 佐藤白次郎

陸軍兵長ヲ命ス 陸軍一等兵 伊藤倉雄

陸軍一等兵 松家正人 同 坂辺清三

同 村上亮治 同 阿谷土

同 佐藤親天 同

陸軍一等兵 片等壽男 陸軍一等兵 瀬谷初雄

陸軍上等兵 佐藤春男 陸軍一等兵 鈴木榮二

同 一等兵 児山十代吉 同 平野定七

同 生田孫治 同 江上善作

同 永井千代所 同 佐藤正

同 小野研一 同 井上信一

同 鈴木勲 同 草野昌久

陸軍兵精勤章ヲ附與ス

二中队編成表第一ノ如シ

三中队地及中队陣地及中队戦ヲ指揮所付圖第一ノ如シ

三陣地進捗状況ハ毎朝報ニ依リ提出ス



